

9:00- 受 付

9:30-10:40 特別講演 【生産性向上と組織力、リーダーシップ】

イキイキと働き、高い付加価値を実現する組織作り ～改革の肝と経営リーダーの役割

- ルネサンスにみる強い組織力づくり
- 働きがいと生産性向上の両立とは
- 世界も視野に入れた仕事術 ～組織として、個として、そして経営リーダーとして



株式会社ルネサンス 代表取締役会長 斎藤 敏一 氏

講演内容の ポイント

「生きがい創造企業」を企業理念に掲げ、総合スポーツクラブを中心に事業展開を進めるルネサンス。労働生産性の低さが指摘されるサービス産業において、従業員と共に高い付加価値を実現し、業界トップクラスの利益率を誇る。ホスピタリティが求められるサービス業において、効率性の追求はともすればサービスそのものの質の低下が懸念されるが、同社は、労働生産性（付加価値÷従業員数/労働時間）の向上を、分母の“削減”の視点ではなく、分子を高めることでその実現を試みている。また、CIS（顧客感動満足）とEIS（従業員感動満足）という独自の指標を持ち、その改善が業績向上につながるという考えのもと、従業員の働きがいにも注力し、そのマネジメントを進めている。働きがいと稼ぐ力を両立させるその経営手法とは、どのようなものか。大手製造メーカーの社内ベンチャーとしてスポーツクラブを創業し、レジャー産業から超高齢社会を背景とした健康産業へと成長させた、現在会長を務める斎藤敏一氏をお迎えし、働きがいのある会社の実現やキーフaktorをご紹介します。

10:40-11:30 基調講演 【キーノートスピーチ】

生産性の高い組織が未来を創る ～本当の“働き方改革”と企業の生き残り戦略^{（仮）}

株式会社リンクアンドモチベーション

モチベーションエンジニアリングカンパニー 執行役 カンパニー長 麻野 耕司 氏

株式会社セールスフォース・ドットコム

他事例企業1社 予定 詳細は ▶ <http://www.b-forum.net/bf0216/> よりご確認ください

11:30-12:00 協賛社講演 【ショートセッション】

モバイル活用で働きやすい環境をつくる ～生産性向上とセキュリティを同時に実現するには



モバイルアイアン・ジャパン シニアソリューションアーキテクト 宮田 智基 氏

12:00-13:00 昼 食 ※ お弁当の御用意がございます。

13:00-14:10 事例講演 【働き方改革事例】

“才能と情熱を解き放つ” の生産性の高い働き方とは ～ヤフーにみる本当の仕事改革～

- ヤフーにみる強い組織力づくり
- 成果を生み出す、本当の働き方改革とは
- “才能と情熱を解き放つ”人財開発企業を目指して～課題と展望



ヤフー株式会社 コーポレートPD本部 本部長 湯川 高康 氏

講演内容の ポイント

情報技術で人々の生活と社会をアップデートする「UPDATE JAPAN」をビジョンに掲げ、広告、電子商取引（EC）、決済金融事業を展開しているヤフー。自らも、時代の変化に合った働き方や労働生産性の向上を実現するため、従来の仕組みを一度壊し、「働き方のUPDATE」を目指し、大きな変革を進めている。モノではなく、100を超えるサービスを展開し、6,000人以上の社員が働くヤフーにおいて、サービス産業やホワイトカラーの生産性向上への取り組みはどのように進められているのか。“社員の才能と情熱を解き放つ”その改革の成果や課題はどのようなものか。働き方改革の施策や改革プロセス、また人事/評価制度に留まらず、1on1を始め、社員の力を真に引き出すための様々な仕組みなど、TRY & ERRORを繰り返しながら、生産性の高い働き方をUPDATEし続けている、その取り組みについてお話いただきます。

14:15-15:30 ショート講演 & パネルディスカッション 【モチベーションと成果の最大化】

やる気こそ生産性向上への最大の妙薬 ～従業員エンゲージメントと仕組みの考察

- モチベーションと生産性向上
- 働きがいのある組織＝成果の最大化を実現する仕組み、サポート
- これからの課題と展望

パネリスト 株式会社サイバーエージェント 取締役 人事統括 曾山 哲人 氏



企業ポイント 株式会社サイバーエージェント

「21世紀を代表する会社を創る」というビジョンを掲げ、インターネット領域で事業を展開するサイバーエージェント。大きな設備投資を必要としないインターネット産業では、優秀な人材こそが重要な経営資源であり、創業以来、人を活かすための独自の施策を進めている。人材の「採用・育成・活性化・適材適所」を重視し、組織に所属する人材の資質をきちんと把握、社員のモチベーションを高め、個の能力を最大限に活かす仕組みとはどのようなものか。人事統括として、様々な改革を長年にわたり進めてきた曾山氏。「個人が納得のいく働き方をすることが本当の生産性向上につながる」との考えの下、個人の「強みを活かす」マネジメント手法を提唱する曾山氏を迎え、これまでの取り組みから得られたヒトを活かすためのヒントや成果の最大化を実現するキーフaktorなどについて議論を進めていきます。

パネリスト 株式会社ディスコ 経営支援室長 石井 秀明 氏



企業ポイント 株式会社ディスコ

「働きがいのある会社」ランキングで毎年上位に入る半導体製造装置メーカー。人が何によって働きがいを感じ、生産性を高め、組織としての最大の成果を出せるのかを常に探求し、様々な仕掛けや仕組みによって社員のモチベーション向上を図っている。2003年、独自の管理会計手法「Will会計」を導入、間接部門含めたすべての部門を対象に部門別での採算管理を開始。「改善すべき行動」に「痛み課金」、「賞賛すべき行動」に「Will報奨」を与え、部門の価値を見える化した。2011年にはWill会計を個人レベルに落とし込んだ「個人Will会計」を導入。あらゆる業務や社内サービスに社内通貨単位・Will（“意志”の意も含んでいる）で値付けがされ（業務価値の見える化）、その請求や支払いといったやりとりが日常的におこなわれている。導入当初は個人や組織間で戸惑いもあったが次第に“自分や会社が強くなるための取り組み”と理解され、労働生産性と雇用管理改善そして社員の働きがい・働きやすさ向上をリアルに実現する好循環を生んでいる。2017年3月の第1回「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」では最優秀賞を受賞。これまでの道のりや成果、そして今後の課題などをショートセッションとディスカッションでご紹介します。

15:30-15:45 休 憩

15:45-17:00 ショート講演 & パネルディスカッション 【働き方改革と生産性向上】

世界で勝ち抜く本当の働き方改革 ～生産性向上へのチャレンジと改革の舞台裏

- 生産性向上と働き方改革（ワークスタイル変革）からの知見 ～推進の力ギ、障害、成果等
- 事業の成長に結びつく働き方改革とは？
- 生産性向上による組織力の強化 ～これからの課題と展望

パネリスト 味の素株式会社 グローバル人事部 労政グループ長 健康推進センター長 隈部 淳二 氏



企業ポイント 味の素株式会社

2008年に、労使プロジェクトとしてスタートした味の素の「働き方改革」。様々な成果を生むも、残業を前提とした働き方からの脱却には至らず、2016年度から経営主導での全社のルール、仕組み、そして従業員の意識の変革を目指し、ゼロベースでの「働き方改革」第二期を再スタート。時間の効率化と意欲を向上させ、仕事の質と量を高める「Work@A～味の素流働き方改革～」の取り組みを、マネジメント改革とワークスタイル改革の両輪で推進している。目指す姿は、“多様な人財が互いを活かし合い、活躍し、7時間労働で新たな価値を創造する会社”。経営の強いコミットメントを軸に進められる改革とはどのようなものか。様々な施策と組織・個人の意識改革のキーフaktor、そして今後の課題なども含め、働き方改革を通じた、真の生産性向上と企業変革の姿をご紹介します。

パネリスト GEヘルスケア アジア・パシフィックリージョン 人事本部長 宇佐見 英司 氏



企業ポイント ゼネラル・エレクトリック（GE）

全世界30万人の社員が取り組むゼネラル・エレクトリック（GE）のワークスタイル変革、「ファストワークス」。ビジネスの展開スピードを上げ、シリコンバレーで成功するベンチャー企業のように機動的に、迅速に意思決定ができる働き方を目指し、大きな改革を進めている。デジタル・インダストリアル・カンパニーへと巨大企業を変革するため、日本でも多くの企業が参考にしたGEバリューや、社員をパフォーマンス（成果）とバリュー（価値観）で分類するナインブロックなども廃止、企業哲学や評価制度までを刷新している。新たな行動指針「GEビリーフス」、新人事制度「パフォーマンス・ディベロップメント（PD）」など、働き方改革と組織の変革を促す様々な施策のもと、社員の働き方はどう変わったのか。デジタル時代を勝ち抜くため、素早く働く「ファストワークス」を通じたワークスタイル変革の現状と課題を中心に、全世界で生産性の高い組織へとチャレンジを試みるGEの取り組みをご紹介します。

17:00 終 了